

報道各位

2013年11月29日
国立国際医療研究センター

WHO-HPQ (世界保健機関 健康と労働パフォーマンスに関する質問紙) 公式サイト
<http://www.hcp.med.harvard.edu/hpq/info.php> 掲載 (2013年11月19日)

逆翻訳による妥当性検証を経た WHO-HPQ (世界保健機関 健康と労働パフォーマンスに関する質問紙) 日本語版の完成

－ プレゼンティーズム Presenteeism (欠勤にはいたっておらず勤怠管理上は表に出てこないが、精神面を含め健康上の理由で仕事のパフォーマンスが低下している状態) の日本語での定量評価が可能に －

(要旨)

国立国際医療研究センターでは日本の国際保健医療協力の中核的機関として、あらゆる国の人々が格差なく健康に暮らせる社会を目指し、医療・保健衛生の向上に努めていますが、このたび臨床疫学研究室長の宮木幸一博士が WHO-HPQ (世界保健機関 健康と労働パフォーマンスに関する質問紙) 日本語版の作成 (翻訳) と逆翻訳による妥当性検証を行ったものが、同質問紙 short form の正式な日本語版として公式サイトに掲載されることとなりました。<http://www.hcp.med.harvard.edu/hpq/info.php>

これにより英語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語について日本語でも上記質問紙による調査や研究が容易に行えるようになり、プレゼンティーズム (欠勤にはいたっておらず勤怠管理上は表に出てこないが、精神面を含め健康上の理由で仕事のパフォーマンスが低下している状態) という観点からの職場の健康管理が可能となり、我が国での調査研究や産業現場での活用が進むことが期待されます。

【研究の背景】

世界保健機関 World Health Organization による定義によると、精神的健康 Mental Health とは「個人が自分の能力を発揮でき、日常のストレスに対処でき、生産性が高い状態で働くことができ、コミュニティに貢献できる良い状態」を指し、単に精神的な疾患がないことを意味しません。

個人の生きがいややりがいといった個人的な問題だけではなく、働く人々の精神的健康は職場や企業単位でのパフォーマンスにも影響し、労働損失としてのインパクトが大きいことが知られています。こうした文脈のなかで、アブセンティーズム Absenteeism

独立行政法人 **国立国際医療研究センター**

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038

と呼ばれる疾患により休業を生じる事態は客観的事実であり把握しやすい一方、プレゼンティーズム Presenteeism と呼ばれる出勤している労働者の労働遂行能力低下による労働損失は客観的に把握することは困難であり、総量としての損失は後者の方がむしろ大きいとされ、問題となっています。

【本研究の概要・意義】

世界保健機関ではこの問題に対し、ハーバード大学医学部のケスラー教授 Professor Ronald Kessler, Department of Health Care Policy, Harvard Medical School らが開発した健康と労働パフォーマンスに関する質問紙 WHO-HPQ (World Health Organization Health and Work Performance Questionnaire)を公開していますが、今まで正式な日本語版は存在せず、我が国ではプレゼンティーズムに関する調査・研究や理解が不足していました。

国立国際医療研究センターでは日本の国際保健医療協力の中核的機関として、あらゆる国の人々が格差なく健康に暮らせる社会を目指し、医療・保健衛生の向上に努めていますが、このたび臨床疫学研究室長の宮木幸一博士が日本語版の作成（翻訳）と逆翻訳による妥当性検証を行ったものが、同質問紙 short form の正式な日本語版として公式サイトに掲載されることとなりました。<http://www.hcp.med.harvard.edu/hpq/info.php>

【今後の展望】

これにより英語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語について日本語でも上記質問紙による調査や研究が容易に行えるようになり、プレゼンティーズム（欠勤にはいたっておらず勤怠管理上は表に出てこないが、精神面を含め健康上の理由で仕事のパフォーマンスが低下している状態）という観点からの職場の健康管理が可能となり、我が国での調査研究や産業現場での活用が進むことが期待されます。

また宮木室長が分担研究者を務めている文部科学省特定領域研究「社会階層と健康」<http://mental.m.u-tokyo.ac.jp/sdh/> の職域コホートにおいても、一部企業でこのWHO-HPQ 日本語版が用いられ、プレゼンティーズムスコアが悪いと将来の精神的理由による欠勤が統計学的に有意に増加することを前向きな追跡調査により確かめていることを付言します（現在国際誌に投稿中）。

独立行政法人 **国立国際医療研究センター**

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038

The World Health Organization Health and Work Performance Questionnaire



HPQ Home

- Home
- **Info and Survey Versions**
- ACHP Initiative
- ↓ Related Links

› The World Mental Health Composite International Diagnostic Interview

› The World Mental Health Survey Initiative

› National Comorbidity Survey

World Health Organization Health and Work Performance Questionnaire

Letters to Potential Users of the HPQ:

- Background Information: Ronald C. Kessler, July 1, 2002
- Value Proposition: Ronald C. Kessler, July 1, 2002
- News notes: The Clinical Trials Version of the HPQ: Ronald C. Kessler, August 1, 2002
- Commonly Asked Questions About the Market Surveys: Ronald C. Kessler, August 1, 2002
- HIPAA Guidelines and Participation in the Harvard Health Care and Work Productivity Initiative: Paul D. Cleary and Ronald C. Kessler, August 20, 2002

HPQ survey versions:

- HPQ Employee Version - updated August 18, 2010
- HPQ Short Form (Absenteeism and Presenteeism Questions with Scoring Rules)
- HPQ Clinical Trials 7-Day Version
- HPQ Clinical Trials 28-Day Version

HPQ scoring documents:

- HPQ Scoring Document: Ronald C. Kessler, March 8, 2003
- HPQ Short Form (Absenteeism and Presenteeism Questions and Scoring Rules)

Translated versions of the HPQ survey:

- HPQ Employee Version (Portuguese for use in Brazil)
- HPQ Clinical 7-Day Version (Spanish)
- HPQ Short Form (French)
- HPQ Short Form (Japanese)

For more information related to the HPQ contact Elaine Veracruz at veracruz@hcp.med.harvard.edu.

References

Kessler, R.C., Barber, C., Beck, A.L., Berglund, P.A., Cleary, P.D., McKeen, D., Prink, N.P., Simon, G.E., Stang, P.E., Üstün, T.B., Wang, P.S. (2003). The World Health Organization Health and Work Performance Questionnaire (HPQ). *Journal of Occupational and Environmental Medicine*, 45 (2), 156-174.

Kessler, R.C., Ames, M., Hymel, P.A., Loeppke, R., McKeen, D.K., Richling, D., Stang, P.E., Üstün, T.B. (2004). Using the WHO Health and Work Performance Questionnaire (HPQ) to evaluate the indirect workplace costs of illness. *Journal of Occupational and Environmental Medicine*, 46(Suppl. 6), S23-S37.

【発表媒体】

WHO-HPQ (世界保健機関 健康と労働パフォーマンスに関する質問紙) 公式サイト

<http://www.hcp.med.harvard.edu/hpq/info.php> 掲載 (2013年11月19日)

© World Health Organization 2013

All rights reserved. Requests for permission to reproduce or translate –whether for sale or for noncommercial distribution–should be addressed to Professor Ronald Kessler, PhD, Department of Health

Care Policy, Harvard Medical School, (fax: +011 617-432-3588; email: ronkadm@hcp.med.harvard.edu).

Acknowledgements

Translation of this document was performed on behalf of the World Health Organization Composite International Diagnostic Interview Advisory Committee by Koichi Miyaki, M.D., Ph.D., of the National

独立行政法人 **国立国際医療研究センター**

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038

Center for Global Health and Medicine, Japan.

【参照 URL】

WHO-HPQ (世界保健機関 健康と労働パフォーマンスに関する質問紙) 公式サイト

ホームページ <http://www.hcp.med.harvard.edu/hpq/info.php>

【注意事項】

既に公開 (米国 2013 年 11 月 19 日) されていますので解禁時間は該当せず

《本件に関するお問合せ先》

国立国際医療研究センター 臨床疫学研究室

責任著者役職名 室長 宮木 幸一 (みやき こういち)

電話 : 03-3202-7181 (内線 2910) FAX : 03-3202-7364

E-mail: kmiyaki@ri.ncgm.go.jp

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

《取材に関するお問合せ先》

国立国際医療研究センター 総務課 広報係長

担当 : 西ヶ谷 良平 (にしがや りょうへい)

電話 : 03-3202-7181 (内線) 2028<9:00~17:00>

E-mail: mishiga@hosp.ncgm.go.jp

独立行政法人 **国立国際医療研究センター**

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038